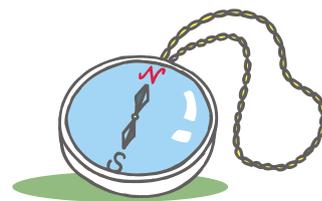


羅 針 盤



第 17 号 令和4年（2022年）9月5日（月）

◆ memory～誰もが思い出に残る笑顔と絆の文化祭～

今年の文化祭のスローガンは、「memory～誰もが思い出に残る笑顔と絆の文化祭～」です。思い出に残る文化祭にしたいという願いが込められたスローガンで、みんなが最高の笑顔で思い出に残る文化祭をつくりあげていくために文化祭実行委員会で選ばれました。7月半ばより続く新型コロナウイルス感染症の第7波によって、更なる感染抑止を必要とする学校生活となる2学期がスタートして僅か10日ばかりが過ぎたところですが、いよいよ本日より今月の9月22日（木）に実施を予定している文化祭に向けての準備が本格的に始まります。全校生徒の皆さん一人ひとりに、このスローガンが掲げている意味をしっかりと意識しながら、この言葉が目指している文化祭とは何かをしっかりと考えてもらいたいと思います。このスローガンの「誰もが思い出に残る」ための文化祭の実現のためには、どの学年もどの学級も全員で協力しながらつくりあげていく過程が何よりも大切なことではないかと考えます。一人ひとりの積極的な活動が大きな思い出となって記憶に



残る文化祭が実現できるものと思います。そして、諦めずに取り組んだ成果が必ず皆さん一人ひとりの成長に結びつくものとなるはずです。日頃の学校生活では得ることのできない体験を通じて、自分自身というものが磨かれていくはずです。新たな発想や行動とともに、失敗することがあったとしても、人間は成長していくものです。どんなときも「笑顔」を忘れることなく、仲間との「絆」を深めることができたという実感の持てる文化祭となり、誰もが成長した自分をたくさん見つけ出すことができる取り組みとなることを心から願っています。

◆ 急いては事を仕損じる

皆さんにも、「時間の都合上」といった言葉を耳にする機会がこれまでもあったことと思います。限られた時間を有効に使っているのか、無駄を省いて端折って済ませようとしているのか、本意がわからない時があるのは事実ですが、慌（あわ）てて物事を兎にも角にも急いで終わらせてしまっただけでは、結局のところ良くない結果が待ち受けているのではないのでしょうか。急いでしないとイケないこともあります。時には周りを見渡して、手心を加えて、時間をかけてゆっくりと事を進めることも大事なことです。以前に、「節（ふし）ありて竹強し」というお話をしたことがあります。竹には「節（ふし）」があるからこそ、折れにくく、そして、まっすぐに成長していくことができるのです。「節目」を迎えるときときには、自分の将来について、自分の不足している部分などについても、落ち着いて振り返る機会をもってもらいたいものです。